

第24回 ほのぼのまつり開催

ご協力ありがとうございました!!

今年でほのぼのまつりは24回目を迎えることができました。当日は午前中の天気が悪かったにも関わらず、たくさんの方々にご来場いただきました。作業所のお店や福祉バザーは大盛況で収益も大幅に伸びました。食べ物コーナー、CoCo壱番屋さんのカレーも好評でお昼過ぎには完売しました。

屋外ステージでは、年々深みが増してきている男性カルテットG5の美声に会場から大きな拍手が沸いていました。オカリナ大地のステージではオカリナの優しく温かい音色が心地よく響き、仲間とのコラボもぴったりでした。メインゲストのピエロのトントさんのパフォーマンスショーではたくさんの芸を見せて頂き、客席のお客さんを巻き込んだ楽しいショーでした。

仲間の元気いっぱいのステージは素晴らしいもので、輝いている姿を来客の方にお披露目できたと思います。屋内においては手相占い、謎解きクイズラリーと新しい企画もあり好評で、たくさんの方々に楽しんでいただくことができました。

ボランティアの皆さん、バザー用品を提供して下さった方々、他たくさんの方々に支えていただき無事におまつりを終えることができました。ありがとうございました。



ほのぼのまつり福祉バザー - 純収益

日用品	226,921円
食べ物	101,038円
衣類つめ放題	33,240円
3品100円	49,780円
水風船	8,521円
花	15,500円
古本	12,240円

計 447,240円

上記の収益の1割と当日の募金を合わせて、47,750円を、きょうせんを通して、熊本地震被災者の方々への支援金として送金を致しました。ありがとうございました。



この度はほのぼのまつりの開催にあたり、会場設営、ステージ設営に際して多大なるご協力をいただきました。

CoCo壱番屋様は今年も出店していただき、収益100,600円のご寄附をしていただきました。また、藤田う月様よりお花をご寄附をしていただきました。

みなさまのご協力に心より感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

きそがわ福祉会だより

地域の中でともに育つ事業所めざして 2016年8月15日発行 No.97



8月2日に勅使ホームの内覧会を実施しました。地域住民の方や法人内外の関係者が多数お越しいただきました。地域の中で普通の暮らしを営んでいけるよう、関係者一同努めて参ります。今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。

勅使ホーム概要

- ◆共同生活援助(グループホーム)5名
(平成28年7月1日より開設)
- ◆短期入所1名
(平成28年10月1日より予定)
- ◆総工費 43,875,000円 ※設計監理費含
(内、一宮市補助金 14,000,000円)

発行 : 社会福祉法人きそがわ福祉会

〒493-0006 愛知県一宮市木曾川町内割田一の通り12番地3

電話 0586-86-3960 FAX 0586-86-3937

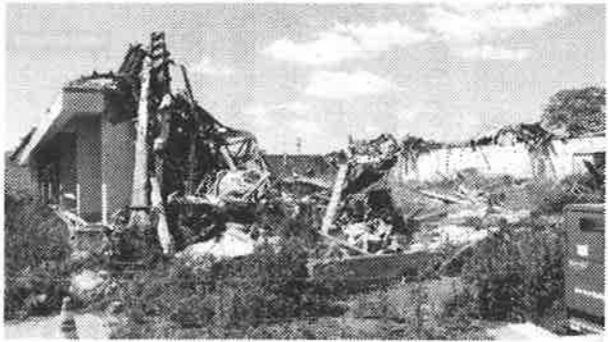
◎被災地の今を知り伝え続けよう◎

6月9日・10日 きょうざれん東海ブロック東北被災地視察研修に参加

視察研修コースに参加

第二きそがわ作業所職員

東日本大震災から5年、被災地の様子や施設運営者の皆さんの暮らしなどについて視察してきました。被災地は瓦礫撤去が進み、町全体を高台にするため、地盤を上げる作業や、高台に市営住宅の建設がされています。



▲被災時の状態で残されている南三陸町立戸倉小学校



▲南三陸町の「のぞみ福祉作業所」の皆さんと交流

施設見学では、被災した仲間達が仮設住宅で暮らし、元気に生活していました。笑い声があったり、集中して仕事をしていたり、被災した悲しみを抱えながらも、前に進むようとしている、心の強さを感じました。緊急時の対応においても色々と考えさせられる貴重な機会となりました。例えば、大災害に遭遇した時、必要な薬を迅速に確保出来るシステムを構築していく重要性も改めて学びました。(H・M)

仲間と共に交流コースに参加 玉の井ホーム仲間と職員
今年、現地のぞみ福祉作業所の仲間と、東海ブロックの仲間の交流を行うコースが企画されました。今回グループホームの(サテライト)住居で一人暮らしの練習をされている(仲間の)付き添いとして参加させていただきました。このお話を聞いて本人がぜひ参加したいということで、事前の学習会にも参加し当日をむかえました。
のぞみ福祉作業所の仲間の方は、現在も仮設のプレハブの建物で活動されていますが、紙すきの機械が導入され、はがきの作成、商品化がされているとのことでした。
二日目に昼食を兼ねた仲間の交流会があり、のぞみ作業所の紹介DVDの上映や、一人一人と名刺を交換しながら交流する企画が設けられました。参加したホームの仲間も事前に名刺を作り実際に名刺交換ができ充実した時間になりました。現地の方も、のぞみの仲間、職員の方もとても親切で、明るく、素敵な方ばかりで、なんだか逆に元気をいただいたように感じました。
南三陸町は震災後5年を迎えますが、狭くて不自由な仮設住宅にまだ多くの方が暮らしており、復興に向けて現在も土地の造成工事が行われています。参加した仲間も、現地の見学や震災直後の津波の話を書いた際には感情がこみあがって涙する場面もありました。
しかし、現地の皆様が、津波によって自分の暮らしがなくなると、多くの皆様が犠牲になった震災の経験を、つらくて思い出したくない話であるにもかかわらず、見学させて頂いた自分たちに丁寧に伝えてくださったことに感謝の思いです。
私達の暮らししている愛知で大きな災害が起こることを想定して何を準備すればよいか、これからみんなで考えていくことが大切だと思います。(H・K)

たこ焼きパーティー

Happy Sunでは、たこ焼きパーティーを行いました。エプロン、三角巾、マスクと衛生面の身支度を整えてからスタート。中力粉とタシを混ぜるチーム、蛸を切るチーム、キャベツをフードプロセッサでみじん切りにするチームに分かれ、さあ作業開始。材料が揃ったら、5台のたこ焼き器でどんどん焼いていきます。



粉を混ぜて



ネギも入れよう!

「ウィンナー入れる?」「お餅入れる?」「チーズは入れる?」「丸くならないなあ。」「とわいわいしながら、皆で作って食べるたこ焼きは一段とおいしいね!とたくさん食べました。

朝の会



今日も一日頑張ろう!(^o^)

Ukikiでは、毎朝日直が前に出て、朝の会を行います。欠席や一日の予定などを確認しますが、なかでもユニークなのが昼食献立当ります。

「今日のメニューは何ですか?」「味が?」「調味料は?」「色は?」「なに?」「色んな質問で探っています。

ときにはホワイトボードに絵を描いてコメントを出されることもあり、個性あふれる仲間達の想像力が膨らみ答えが飛び交います。

一日のほじまり一楽しく活気あふれるスタートの朝の会です。いつも会の締めくくりに、日直の「今日も一日がんばろう!」「おー!」「こい!」の掛け声で終わります。

お誕生日会

ドリームライナーでは、6月に誕生日会を行いました。今月の誕生日会は涼しげな大きなプールに風船を浮かべ、風船釣りゲームを企画しました。ゆらゆら揺れる風船を上手く釣り上げるために、みんな粘り強く集中していました。釣り上げた風船の中には、なんと景品のくじが入っていました。お菓子などの当たりのくじがなく、はすれくじもあり、引いた仲間たちは一喜一憂していました。

誕生日会の最後には誕生者へのお祝いの歌をみんなで歌いました。誕生日おめでとう♪



とったどー!



集中しています!